

瀬戸大橋にいちばん近い島々へ！

さかいで

ISLANDS

とりつぶ

坂出市5島観光ガイドブック



特別な“ブリッジ・ビュー”と ふれあいを探しに、島々へ。

青い空と海のあいだに、大小の緑の石をちりばめたような島々。

瀬戸大橋を渡ればそこは、四国“うどん県”こと讃岐の国。

その玄関口の坂出市から、瀬戸大橋と島々をめぐる小さな、

でも特別な旅に出かけてみませんか。

目の覚めるような眺望と、自然と、歴史遺産。

そして、素朴で心豊かな暮らしにふれる“島旅”へ。

「瀬戸大橋」メモ

本州側の岡山県児島と四国側の香川県坂出市を結ぶ、道路・鉄道併用橋。塩飽諸島の島々を6つの橋で結び、その総称が「瀬戸大橋」と呼ばれています。開通は1988年4月、海峡部延長9.4kmと世界最大級の橋梁です。

沙弥島

SHAMIJIMA

万葉集にも歌われた
歴史とアートの島



瀬居島

SEIJIMA

素朴な漁村の景色や
信仰が息づく島



与島

YOSHIMA

自家用車で降りられる
PAがある島



岩黒島

IWAKUROJIMA

漁業が盛んで美味しい魚を
食べられる島



櫃石島

HITSUISHIJIMA

伝説や伝統行事に彩られた
塩飽諸島最北端の島



坂出までの交通アクセス

- 飛行機で高松空港まで
東京＝高松空港(約1時間10分)
高松空港＝坂出駅(リムジンバスで約50分)
- JRで坂出駅まで
東京＝岡山駅＝坂出駅(約4時間40分)
大阪＝岡山駅＝坂出駅(約1時間40分)
博多＝岡山駅＝坂出駅(約2時間20分)
- 船で高松港まで
神戸＝高松港(約3時間40分)

- 高速道路利用で坂出北ICまで
吹田ICから(瀬戸大橋利用)約3時間
岡山ICから(瀬戸大橋利用)約50分
広島ICから(瀬戸大橋利用)約3時間
坂出北ICから市内中心部まで約5分
- 高速道路利用で坂出ICまで
高知ICから約1時間35分
伊予ICから約1時間30分

※四国方面からお越しの場合は坂出北ICでは降りられません。



沙弥島

【しゃみじま】

壮大＆優美なブリッジ・ビュー

本州から瀬戸大橋を渡って、いよいよ四国！というタイミングで右手に見える
こんもりとした森と、その前の小さなビーチには、大きな木が1本。

埋立事業で1967年に陸続きになりましたが、今でも「沙弥島」と呼ばれ

気軽に行けて、絵葉書のような瀬戸大橋を眺められる絶景ポイントと
豊かな自然や歴史遺産のある島として、坂出っ子に親しまれています。



4



5



1



2



3



6

④ナカダ浜から海岸沿いに、林の中を散策できる遊歩道が続いています。⑤遊歩道の途中、沙弥島の北端にあたる「長崎鼻」からはこんな眺めが広がります。⑥さらに奥へ歩くと、「白石古墳展望所」という広場が。ここには屋根付きのテーブル&ベンチもあり、お弁当を広げるには最適！

- ①ナカダ浜からの眺望は、「瀬戸大橋ベストビュー」の一つ。
- ②砂浜にボツンと立つエノキの大木はナカダ浜のシンボルツリー。木陰のベンチに座ってゆったり…至福の時間。
- ③島の西側の砂浜沿いにはパームツリーが植えられ、夕暮れ時には浪漫チックな散歩道に。

沙弥島

●基本情報／かつては坂出港の沖合約4kmに浮かぶ塩飽諸島の島でしたが、今では地続きに。バスで簡単に訪れることができます。自家用車の場合は、瀬戸大橋記念公園駐車場を利用し、徒歩で散策を。

●周囲：2.0km

●アクセス：JR坂出駅から坂出市営バスで約15分

📷撮影スポット



沙弥島 [しゃみじま]

歴史と伝説に彩られた 万葉の島を歩く

沙弥島の歴史はとっても古く、縄文土器が出土したり、古墳があったり、古代には製塩が行われていた跡も見つかったりと、歴史好きにはたまらない。

なかでも、「万葉集」を代表する歌人・柿本人麻呂がこの地を訪れたときに詠んだ歌は有名で、「万葉の島」としても知られています。

かきものひとまる
柿本人麿碑

万葉集を代表する歌人・柿本人麻呂

ナカンダ浜には「柿本人麻呂文学碑」があり、そこから西へ歩いたオソゴエの浜には、「人麻呂岩」のそばに大きな「柿本人麿碑」(写真上)が建っています。人麻呂さんの足跡を辿るように歩きたい。



金刀比羅宮所蔵 「三十六歌仙額」より「人丸」

玉藻よし 讃岐の国は 国柄か 見れども飽かぬ
神柄か…… 狭岑の島の 荒磯面に
ありそも

この歌にある「狭岑の島」が、沙弥島。
人麻呂さんの時代には、
こんなふうに使われていたんですね。

りげんだい し どう 理源大師堂

京都の醍醐寺を開いた名僧・理源大師聖宝(839年～909年)は沙弥島の出身といわれ、ゆかりの史跡や伝説が今も島民によって大切に守られています。

① 碇に従って石段を登ると、ひっそりとした佇まいのお堂が…。② 病気の母の看病のため故郷に戻った理源大師。その母の弔いと民衆を救うため沙弥島に建てたお堂を、1671年に再建したものです。



えなが石(沙弥港)

沙弥港の入口には、なぜか大きな岩が鎮座。これは「えなが石」といわれ、理源大師の胎盤を埋めた上に大きな岩でふたをしたものという言い伝えが。地元では「この岩に触れるとお腹が痛くなると信じられ、瀬戸大橋建設に伴う港周辺の整備工事でもこれだけは動かさなかったとか。



沙弥港は瀬戸大橋公園に隣接した静かな入り江。ここからの瀬戸大橋の眺めもレアですよ。

沙弥島
この日がおススメ!

春 沙弥島万葉まつり

島ゆかりの万葉歌人、柿本人麻呂にちなんで、島内の「坂出市万葉会館」を中心に開催。「万葉暮らし体験」や「万葉ウォーク」など、毎年趣向をこらしたイベントで盛り上がります。



寄り道ガイド

“アート之道”ヘタイムトリップ!

歴史の遺産ばかりでなく、今も進化し続ける坂出の玄関口として。瀬戸大橋記念公園に隣接し、「瀬戸内国際芸術祭」会場の一つにもなるなど近年は香川の“アート巡り”の拠点としても脚光を浴びています。



「沙弥島・西ノ浜の家」
藤山哲朗・富井一級建築設計事務所



東山魁夷せとうち美術館からの瀬戸大橋

瀬居島 [せいじま]

ひみつのブリッジ・ビュー

瀬戸大橋で本州側から坂出に入ると、左手にコンビナートが広がる
その向こうに、瀬居島の集落はひっそりとあります。
沙弥島と同じく埋立事業により、1968年に陸続きになりましたが
今もあちこちに島らしい風景が広がり、不思議と心を和ませてくれます。
ここには、坂出っ子でも知る人ぞ知る、穴場的ビューポイントもいっぱい。

防波堤の向こうに瀬戸大橋、
ゆっくりと船がくぐってゆくのを
ずっと眺めていたい。

1

瀬居島の東側、山肌に集落が密集して港を見下ろしている竹浦地区は、
かつての島の集落の風情を色濃く残しています。

2



瀬居島の西浦・北浦地区は、最近話題の“工場夜景”（番の州臨海工業地帯）を
望める“隠れ夜景スポット”。



子どもの頃は
ジャンケンをして
遊びました(笑)

③竹浦地区の港の前には石造りの
堤防。ここ、歩けるんです(足元
注意!)。④竹浦港のほど近くにあるこの石、地元の人には「グーの
石」と呼んでいるそう。なるほど!
⑤こんな静かできれいな“隠れ
ビーチ”が見つかったりと、瀬居の
島歩きはワクワクが止まらない!

4



5

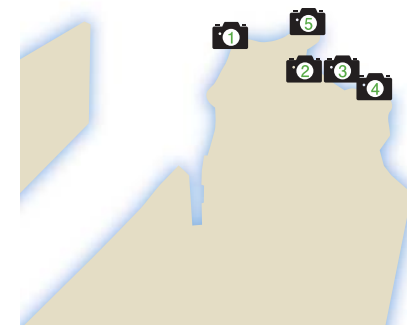
瀬居島

●基本情報／坂出市街からバス便あり。集落は竹浦・本浦・
西浦・北浦の4地区にあります。岩山観音展望台周辺の道
は整備されていないので歩きやすい靴で、足元に注意を。

●周囲:4.4km

●アクセス:JR坂出駅前から坂出市営バスで約25分

📷撮影スポット



瀬居島 [せいじま]

素朴な信仰のみちを歩く

今では工業地帯に隣接する「瀬居町」となり
坂出市街からもすぐにアクセスできるように。
なのに、やっぱりどこか懐かしさを感じる“島”なんです。
ほこら
歩いていると、小さな祠やお稲荷さんがあちこちに。
今も多くが漁業をして暮らす人たちの

素朴な信仰のカタチにふれて、ほっこり。

瀬居八幡宮

本浦地区にある「瀬居八幡宮」。昔は境内の
すぐ横までが海だったそう。大漁旗で飾られた
漁船が集結する秋祭りは有名で、島外からも
多くの参拝客が訪れて賑わいます。



上の大師堂へ続く、西浦地区の家並み。
こんな路地に迷い込むのも楽しい。

◀瀬戸大橋の見える高台にある
西浦地区の「大師堂」にて。毎日
手押し車で坂道を登ってお参り
に集まるという仲良し4人組の笑
顔が素敵です!

岩山観音展望台

岩山観音周辺の山道には、道しるべのように小さな
石仏が佇み、“八十八か所巡り”をすることができます。
春の「お大師市」にはたくさんの人が訪れ、島の
人のお接待もあります。



①竹浦地区を案内してくれた佐野さん。
港を見下ろすお稲荷さんのこの赤島
居、なんと佐野さんの手づくり。②佐野
さんのお父さんが島内の天然の岩山に
祠を造ってお祀りした「岩山観音」から
瀬戸大橋がきれいに見えるようになった
ことから、佐野さんが双眼鏡を設置。爽
やかな眺望の展望台になりました。③島
内の山道には、道しるべのように小さな
石仏が佇みます。これは「島四国」とか
「瀬居八十八ヶ所」といって、四国八十
八ヶ所の縮小版。わずか数時間で巡れ
る“お遍路”体験はいかが?



寄り道ガイド

橋と工場と漁船の、 不思議なコラボ。

島の西側には、瀬戸大橋と
工業地帯のお膝元に小さな
漁港が。周辺が開発されて
も変わらない、海と一体の暮
らしの匂いがします。



◀島内には、漁業の神様
である恵比寿さんを祀る
祠や、お稲荷さんが各
地区にあります。写真は北
浦地区の「えびす
神社」。祠
を守るような松の枝ぶり
が見事。

瀬居島 この日がオススメ!



4月29日(祝) お大師市(お接待)

毎年この日には島外からも
多くの人が「瀬居八十八ヶ
所」巡礼に訪れ、島の人たち
の“お接待”もあります。

9月の最終日曜日 瀬居八幡宮秋祭り

本浦の八幡宮から担ぎ出さ
れた御神輿が、西浦、北浦、
竹浦と巡って本浦に戻り、漁
船に載せられ海に出ます。大
漁旗がはためく様は壮観。

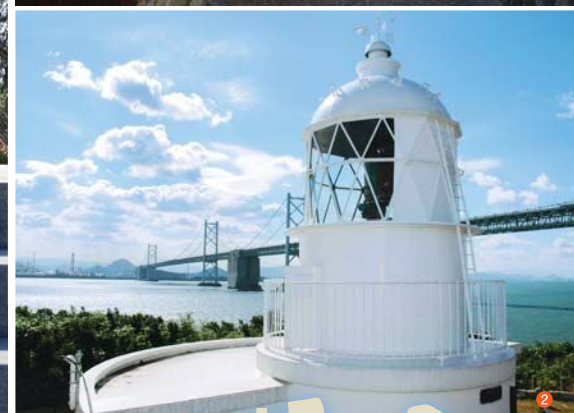
与島 [よしま]

大迫力のブリッジ・ビュー



瀬戸大橋の橋脚を支える島々のうち、坂出市に所属する有人島は3島。
中でも、一般車輛が降りられるパーキングエリアがあるのは与島だけ。
真下から見上げる橋、民家の屋根の上に建つかのような橋、
もちろん、瀬戸内の美しい海と島々を望む360°パノラマビューも印象的。
さらに、車を降りて歩いてみると、また違った魅力にあふれた島なのです。

定番ですが、まずは「瀬戸大橋」のモニュメント前でパチリ！
与島PAにはレストランやうどん店、展望台などがあり、
お土産も買えます。



- ① かつて採石業で栄えた島らしい石垣の路地を歩けば、ふいに瀬戸大橋が眼前に。
- ② 与島のもう一つのシンボルが、白亜の「鍋島灯台」。鍋島は与島から地続きで歩いて渡れる小島。③ 島の縁を通る道は、素敵なロケーション。
- ④ 橋の下にいるこの勤勉そうな人…実は、廃校になった与島小学校の校庭に残された「二宮金次郎像」！



与島

● 基本情報／集落があるのは浦城、穴部、塩浜の3地区。島内には路線バスも走っていますが本数が少ないので、徒歩でのんびり散策するのがおすすめです。

● 周囲：4.3km

● アクセス：JR坂出駅前から
琴参バス（瀬戸大橋線）で約20分

📷 撮影スポット



与島【よしま】

石垣の路地、 郷愁の島景色を歩く

与島PAからさらに奥へ進み、気の向くままに
ぶらぶら散歩。そこには、変わらない
“島時間”が流れていました。

浦城集落の石垣



与島には穴部・塩浜・浦城という3つの集落があります。写真は浦城集落。石垣に囲まれた坂道やひっそりと静まる路地。思わず、懐かしい“あの頃”へタイムスリップした気分に。

ちょっと一服

たこめし御膳

島の郷土料理といえば、近海でとれる新鮮なこを炊き込んだ「たこめし」。与島PAの「与島ブラザ」で味わうことができます。



①かつての“採石の島”の繁栄を物語る、こんな風景があちこちに。②島民の安全を昼夜守る、島の駐在さん。③海岸線を埋め立てて道路を造ったので今は奥まった場所にある、立派な常夜燈。その昔は灯台としての役割も果たしていました。④海の守り神・龍神さんの祠の前には、大きな船のスクリューが鎮座。

与島の東沖合に浮かぶ小島だから、「小与島」。かつては多くの採石業者とその家族が暮らし、商店もあり、子どもたちの遊ぶ声が響いていたそう。現在の住人は、わずかにご夫婦1世帯。もしかしたら日本一？小規模な有人島には、オドロキの風景が広がっていました。

小与島【こよしま】
ここはファンタジーの舞台？
それとも異空間？！

まるでハリウッド映画の世界に迷い込んだような、採石場跡にビックリ。

採石場跡



小与島

●基本情報／小与島への公共連絡船はないのですが、坂出市観光協会主催のまちあるきイベント「坂出3島物語」のコースに含まれています。

●周囲：1.3km

📷撮影スポット



⑦船着き場の近くにある神社（梶大明神）は、小さなお社まで石造り。数年前の台風で流されてしまったお社を、有志で「もう流されないよう頑丈なものに」という願いを込めて再建したのだとか。⑧横の広場に据えられた遊具には、今は遊ぶ子どもの姿もなく…ボツンと瀬戸大橋を見つめていました。

与島・小与島
この日がオススメ！

4月18日 与島／三十三観音巡り

島内には、石に彫られた素朴な観音様「与島三十三観音」を巡ります。この日は、島の人たちによる“お接待”があります。



春頃

小与島／梶大明神春祭り

毎年、梶大明神の春祭りには島を離れた人々が集まります。“子ども相撲”も奉納され、島が賑わいを取り戻す一日です。





岩黒島

【いわくろじま】

まわるまわるブリッジ・ビュー

このループ橋で島へ降りられるのは、残念ながら島民など通行証を持っている車だけです。でも、見るだけで目が回りそう…。



不思議な“黒い砂浜”

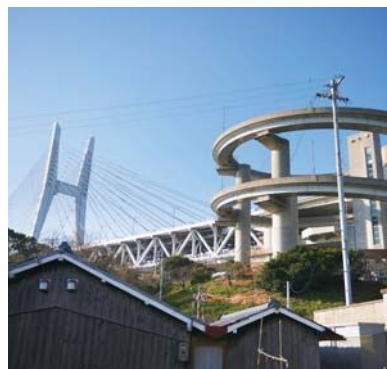
島名の由来にもなった“黒い岩”がゴロゴロ、その名も「黒浜」。一体どうしてこうなったの？！



黒浜は岩壁も黒い石とのモザイク模様で、ホントにフシギな風景。

「あれって何なの?!」

瀬戸大橋を渡るたび、気になっていたらせん状のループ橋は、岩黒島に降りる連絡橋。のどかな漁業の島で、ココだけ近未来SFみたい。この橋をじっくり眺められるのは、島民と、島に降りた人だけの特権なのです。真下から見上げるのも迫力がありますよ。



ループ橋の下には、岩黒小中学校の子どもたち手づくりの可愛い島内案内マップが。

岩黒島

●基本情報／民宿が3軒あるので、瀬戸内の海の幸を楽しみに訪れるリピーターも多い島です。漁港の近くには猫が多く、猫好きにはたまらない散策が楽しめます。

●海岸線長：1.4km

●アクセス：JR坂出駅から琴参バス（瀬戸大橋線）で与島停留所下車。下電バスに乗り換え、約50分（乗り換え時間含む）

📷撮影スポット



岩黒島【いわくろじま】

島の暮らしを歩いて、 泊まって体感

瀬戸内の豊かな漁場の中にあるこの島は、
今も漁業が盛んで、海とともに生きる
たくましい家族の暮らしがあります。
そんな島の日常を、体験してみませんか？



▲実は、瀬戸大橋の上には路線バスのバス停があります（利用者はループ橋ではなくエレベーターで昇降）。島内には小中学校までしかないで、高校生は毎日こんな通学風景！

橋のある日常

①岩黒小中学校近くの菜の花畑から。②ループ橋近くの家庭菜園を守る案山子も。③岩黒漁港付近をパトロールする猫さんの背後にも。

ホントに
どこからでも
見えるニャン

漁師の島で

④島の漁師さんに信仰されている「大天狗神社」には陶器製の狛犬が鎮座。表情がどことなくユーモラス。⑤島には若い漁師さんも多く、活気があります。⑥漁のほかに、ハマチやフグの養殖をしている漁師一家。休日には子どもたちもお手伝いします。⑦養殖したハマチの一部は、隣の「釣り堀」へ。海に浮かぶ釣り堀で、のんびりと大物を狙ってみたい。

漁業の島だから
猫もいっぱい。
みんなよく
太っています(笑)。



鯛、アコウ(キジハタ)、ハマチ、トラフグなどを釣り放題！ **つりぼり 竜宮**

●料金(4時間)：大人・中学生10,000円、女性7,000円、小学生以下5,000円 ●TEL:0877-43-0424

岩黒島
この日がススメ！

5月末頃 茶がゆのお接待

岩黒島には、発酵させた「碁石茶」という珍しいお茶で作る「茶がゆ」という郷土料理があります。岩黒島ではこの食文化を守ろうと、毎年“お接待”のイベントを開催しています。



お食事＆宿泊はココへ！

民宿 岩本



岩黒漁港の目の前で、海に見える部屋もあります。11月から2月には「ブリしゃぶ」が人気。家庭的な煮魚、焼き物、刺身などのほか、昼食には気軽な定食も出すなど、フレキシブルに対応。

●チェックイン15:00～/チェックアウト9:00
●1泊2食・1人6,000円(税別)～ ※1名様泊可
●昼食利用は相談のうえ
●TEL:0877-43-0152

民宿 岩黒



ループ橋の近くにあり、夜には瀬戸大橋の夜景も望めます。朝獲れの新鮮な魚にこだわりの、ふぐ料理の免許も持つ料理自慢の宿。メインの「ちぬ飯」(10～2月、その他の季節は鯛飯)が評判。

●チェックイン16:00～/チェックアウト9:00
●1泊2食・1人10,000円(税別)～ ※2名様より
●昼食5,000円(税別)～
●TEL:0877-43-0425

民宿 みはらし



その名の通り、岩黒漁港と瀬戸大橋を見晴らせる高台に立地します。オーナーのお父さんは漁師で、自慢料理は「鯛の塩焼き」(4名様から)、小海老の唐揚げ(夏～秋で獲れたとき限定)など。

●チェックイン16:00～/チェックアウト9:00
●1泊2食・1人8,000円(税別)～ ※2名様より
●昼食1人3,000円(税別)～ ※4名様より
●TEL:0877-43-0356

櫃石島 【ひつしじま】 最北端のブリッジ・ビュー

坂出の島々のなかで、最北端に位置する櫃石島は
ここだけでしか見られない絶景スポットの宝庫。

瀬戸大橋をはさんで、東は漁港や集落が懐かしい佇まいを見せ
西には、パノラミックな眺望が広がる遊歩道があります。

晴れた日にお弁当を持って訪れたい、
散策にちょうどいいサイズの島です。



1

瀬戸大橋は上が自動車道路、下が
鉄道の2層構造。櫃石島にはその
間を東西に通抜けられる歩道が
あります。東側の「花見山」は知る
人ぞ知る絶景スポット。

① 岡山側の起点に近いこの島から
見る瀬戸大橋は、他の場所からとは
まったく違う表情を見せてくれます。



瀬戸大橋で
懸垂してみたり。

ここが塩飽諸島最北端、大橋の終点は
岡山県児島です。この建造美、真下から
見上げると開いた口がふさがらない！

櫃石島

● 基本情報／島に降りる
には路線バス利用を。瀬
戸大橋2層の間を通る歩
道「大浦通り跨線橋」は、
眼下に列車が通過するの
を眺められる、鉄道好きに
は興奮まちがいなし！のス
ポット。

● 海岸線長：5.5km

● アクセス：JR坂出駅前から琴参バ
ス（瀬戸大橋線）で与島停留所下車。
下電バスに乗り換え、約55分（乗り換
え時間含む）

📷 撮影スポット



櫃石島 [ひつしじま]

伝説と伝統が息づく 島風景を歩く

坂出の島々に共通する
素朴な信仰や、伝説などに彩られた、どこか懐かしい風景。
それは、島の人びとが昔から大切に守り伝えてきた独特の文化。
ここ櫃石島にも、それらが色濃く遺されていて
たとえば不思議な伝説を聞いても、なぜか納得できてしまいます。



いどしま
櫃石島から歩いて渡れる、その名も「歩渡島」は、
ひょうたんのような形もカワイイ小島。



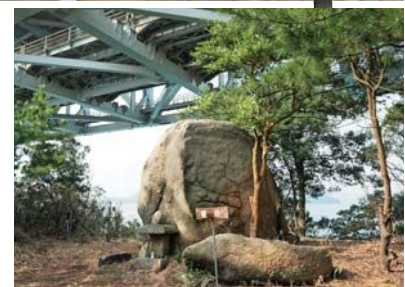
歩渡島には「七福神」の神様たちが住んでいて、木立の中を歩いていると、こんな笑顔で迎えてくれます。



毎年1月に行われる「櫃石ももて祭」で有名な「王子神社」に参拝。普段は静かな島の鎮守さまですが、よく見るとここからも瀬戸大橋ビュー。



▲その昔、お伊勢参りに行った島民が持ち帰った小石が大きくなったと伝わる「キイキ石」。



▶島名の由来でもある“櫃”を立えた形をした「櫃岩」。瀬戸大橋の真下の急斜面を登った先にひっそりとあります。

島のうまいもん

瀬戸内の海の恵みを 召し上がれ!

- ①「海流が速いこの辺りで獲れる天然の鯛は、身がしまってとびきり旨いですよ!」
- ②この島はタイラギ貝の潜水漁でも知られているため、民宿の入り口にはこんな潜水ヘルメット(?)のオブジェが。



お食事 & 宿泊はココへ!

民宿 いけだ

瀬戸大橋を櫃石島ゲートから降りるとすぐ、木立の中にあるペンション風の外観の一軒家。オーナーは現役漁師で、豪華な船盛りや「鯛の塩電焼き」など豪快な漁師料理でもてなしてくれます。



- チェックイン16:00~/チェックアウト10:00
- 1泊2食・1人¥9,800(税込) ※2名様より
- 昼食¥5,000(税込) ~
- TEL:0877-43-0070

櫃石島 この日がおススメ!

1月下旬 櫃石ももて祭

「ももて祭」は、瀬戸内に春を呼ぶ風物詩として各地に伝わるお祭り。櫃石島の王子神社で開催されるこちらは、香川県の無形民俗文化財に指定されています。古式ゆかくし射手が、一年の豊漁や厄除けなどを祈願して弓を射る伝統行事は壮観。



EVENT INFORMATION

坂出市観光協会が開催するまちあるきイベント

「坂出3島物語」

海拔175mの瀬戸大橋塔頂に登れる

「瀬戸大橋スカイブリッジツアー」

お問い合わせ先

坂出市観光案内所 TEL:0877-45-1122



古のロマンのまち
さかいで

<http://www.city.sakaide.lg.jp/>

[発行・編集] 瀬戸内国際芸術祭坂出市実行委員会
事務局: 坂出市建設経済部産業課にぎわい室
〒762-8601 香川県坂出市室町二丁目3番5号
Tel: 0877-44-5015

Eメール: nigiwai@city.sakaide.lg.jp
坂出市5島観光ガイドブック 2016年3月18日発行
本誌掲載の記事、写真等の無断複写、複製、転写を禁じます。

[表紙] 櫃石島からの瀬戸大橋

